

議案第 17 号

羽曳野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準
を定める条例の一部を改正する条例の制定について

羽曳野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部
を改正する条例を別紙のように制定する。

平成 31 年 2 月 26 日 提出

羽曳野市長 北 川 嗣 雄

提 案 理 由

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準(平成 26 年厚生労働省令第 63 号)の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件を変更する必要性が生じたため、この条例を制定しようとするものであります。

羽曳野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準
を定める条例の一部を改正する条例

平成 年 月 日

羽曳野市条例第 号

羽曳野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(平成26年羽曳野市条例第24号)の一部を次のように改正する。

第11条第3項第5号中「卒業した者」の次に「(当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)」を加える。

附 則

この条例は、平成31年4月1日から施行する。

羽曳野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 新旧対照表

新	旧
<p>(職員)</p> <p>第11条 1・2 省略</p> <p>3 放課後児童支援員は、次の各号のいずれかに該当する者であって、都道府県知事が行う研修を修了したものでなければならない。</p> <p>(1)～(4) 省略</p> <p>(5) 学校教育法の規定による大学(旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学を含む。)において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者(当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)</p> <p>(6)～(10) 省略</p> <p>4・5 省略</p> <p>以下省略</p>	<p>(職員)</p> <p>第11条 1・2 省略</p> <p>3 放課後児童支援員は、次の各号のいずれかに該当する者であって、都道府県知事が行う研修を修了したものでなければならない。</p> <p>(1)～(4) 省略</p> <p>(5) 学校教育法の規定による大学(旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学を含む。)において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者</p> <p>(6)～(10) 省略</p> <p>4・5 省略</p> <p>以下省略</p>